

あだたら

第376号
発行所 所部
市鉄山の部
松原から集
あだた編

一月十九日(日)

二月山行(常葉)鎌倉岳(九六七m) 新年の仲間と安全と チリムワック実践登山

報告 □□□□

天候予報の通り春の訪れ
さを感じる晴天の暖かさ。
八時、二本松市役所に七名
が集合し、乗用車二台に分
乗して出発。小浜町を通り
常葉町へ。九時三十分鎌倉
岳(かじか)登山口へ到

着。駐車場には既に二台の
車。三十台以上は駐車可能
の広さ。整理運動をして準
備を整え、薄く雪を被って
いる登山口を出発。四十分
程歩くと石切場跡に到着。
石切場跡までは昔使用して

●編集部連絡先
二本松市郡内1-515
0243(22) 4245
渡辺 正

いた車道が残っていました
。石切場跡からは石がゴ
ロゴロの急斜面が続いま
す。途中登山者四名に会い
、今日鎌倉岳の総登山者は十
四名以上である模様。登山
道は落ち葉・ドロ・雪が相
乗して急斜面を登る。なか
な長時間が掛かる。十時四
十五分、水場に近づくと
ゴオ〜ゴオ〜と 鳴き声が
響き渡り、皆でこれは何の
鳴き声かと話し合い、きつ

と蹴(かじか)の鳴き声だ
ろうと皆で一致しました。
ここからも急斜面が続き、
山頂すぐ下の階段は雪で覆
われていました。十一時二
十分山頂へ。少し風がある
が穏やかで十五分程休息し
て、すぐに下山を開始。下
山は別ルートを選択し、小
塚登山口へ下山する事にし
ました。小塚登山口は北側
であることもあり、雪が十
五センチほど積もり、冬山登山
の実践訓練となりました。
下山道は新や炭、あるいは
椎茸に利用されたと思える
原木林でした。小塚登山道
の出口に近づくと頃には植生
が変わり杉原になり、雪も

三センチになりました。十二時
二十分登山口へ到着し、民
家がある車道を歩き十二時
三十分道脇の民家の畑で遅
めの昼食としました。この
後二十分程歩き、車を止め
て置いた蹴(かじか)登山
口へ戻り、装備を解きまし
た。十四時岩代の「さくら
の里」で今回の山行の精算
と談話をしました。その中
で家でブラブラ、テレビで
時間を潰すより、ストレス
解消、体力アップにも山登
りは最高と一同一致。同感。
十五時二本松市役所で解
散。本当に楽しく、ご苦労
様でした。

一月十九日(日)

元会長、最古参の会員、 逝去

報告 編集部



07年4月29日、□□□□さん、□□□□さん

令和二年一
月十九日午前
十時、当会の
元会長・□□
□□さんがお
亡くなりにな
られました。
大正一五年
(昭和元年)
三月生まれで
当会では最古
参、昭和三七
年に副会長、
昭和四四年か
らは会長に就

任されました。副会長時代
の昭和三九年には、改築が
終わったばかりの安達太良
山の倶楽部「くろがね小屋」
のくろがね山岳協会の会
長に就任されました。メン
バーには郡山山岳会・本宮
山岳会・猪苗代山岳会など。
昭和四七年頃からは全国に
先駆けて「ゴミ持ち帰り運
動」が始まり、山開き当日
にゴミ袋の配布が行われま
した。翌年は会創立一五周
年、市民登山兼家族登山も
始まりました。昭和五六年、
□□□□さんと会長を交替
し、常任顧問として、会の
発展に尽くされました。七
年ほど前に奥様を亡くされ
てからは、表塩沢の高齢者
向け住宅「陽だまりの郷」
で暮らし、お元気だと言っ

1月24日、告別式にて、居合わせた会員だけ



新春の集い、撮影・編集部

一月十二日(日)

体協新春の集い

バイパスのウェディング
パレス「かねすい」で午後



13時16分、蹴登山口に戻った、撮影・編集部

四時から開
催。当会から
は四名参加。



11時27分鎌倉岳山頂、□□□□撮影

二月二十六日(日) 二月、冬山。パトロール

報告 □□□□



8時54分、シャッター押してもらって 全員撮影

【参加者】□□□□、□□□□、□□□□、□□□□、□□□□、□□□□、(会員外) □□□□さん、六名

【行動】集合は奥岳八時、当日朝は晴れで、無風。八時十分ごろスタート。まず、ブルーラインリフトに乗

車。その後徒歩となった。八時五十四分ゴールドライ

ンリフト降り場付近で、通りがかりの方に集合写真を撮っていただいた。積雪量が少ないため、トレースは

ほぼ夏道についており、我々も先行者の通った道を通



レストハウス前で参加者全員

る。全員登山靴で登り始めた。九時五十四分薬師岳到着。十時二十分ごろから、登山道沿いの木に、目印の

テープをつける作業を行った。仙女の分岐辺りで、二名はスノーシューを装着。□□さんは足が痛むため、□□さんと下山。残り四名は目印のテープをつける作業を続行した。十一時五十分まで登りながら作業し、山頂直下でテープを巻く木



救助隊、民間参加者

安達太良山岳遭難対策委員会

の冬山遭難救助訓練は三十日(木)安達太良山、薬師尾根で行われた。午前八時から奥岳スキー場、休

憩所ランデブー前でお発式。八時三十分からは、救助隊へのスノーシュー装着・歩行訓練が行われた。

午前八時五十分、捜索隊

一月三十日(木) 安達太良山岳遭難対策委員会、冬山遭難救助訓練

報告 編集部

着・歩行訓練が行われた。

午前八時五十分、捜索隊

一、二班はあだたら高原スキー場のブルーラインリフトに搭乗、訓練場所の薬師尾根五葉松平を目指して雪山に登山、十時三十分には到着した。今年の安達太良山、積雪が少なく、五葉松平でもストレッチャーへの要救助者搭載・運搬訓練ができるだけの積雪がないため、訓練場所を例年吹き溜まりになっている、ロープウェイ山頂駅広場に移すこととし更に登山、十一時には到着した。最初の訓練は、ツェルト・ザックを使った冬山での緊急退避訓練、初めて利用する消防隊員・警察署員など、ザックの材質が薄いのに機密性高く、中が暖かいのに驚いていた。昼食後は捜索班毎に要救助者のストレッチャーへの搭載訓練、その後、ロ

一、二班はあだたら高原スキー場のブルーラインリフトに搭乗、訓練場所の薬師尾根五葉松平を目指して雪山に登山、十時三十分には到着した。今年の安達太良山、積雪が少なく、五葉松平でもストレッチャーへの要救助者搭載・運搬訓練ができるだけの積雪がないため、訓練場所を例年吹き溜まりになっている、ロープウェイ山頂駅広場に移すこととし更に登山、十一時には到着した。最初の訓練は、ツェルト・ザックを使った冬山での緊急退避訓練、初めて利用する消防隊員・警察署員など、ザックの材質が薄いのに機密性高く、中が暖かいのに驚いていた。昼食後は捜索班毎に要救助者のストレッチャーへの搭載訓練、その後、ロ



10時32分、五葉松平到着

一、二班はあだたら高原スキー場のブルーラインリフトに搭乗、訓練場所の薬師尾根五葉松平を目指して雪山に登山、十時三十分には到着した。今年の安達太良山、積雪が少なく、五葉松平でもストレッチャーへの要救助者搭載・運搬訓練ができるだけの積雪がないため、訓練場所を例年吹き溜まりになっている、ロープウェイ山頂駅広場に移すこととし更に登山、十一時には到着した。最初の訓練は、ツェルト・ザックを使った冬山での緊急退避訓練、初めて利用する消防隊員・警察署員など、ザックの材質が薄いのに機密性高く、中が暖かいのに驚いていた。昼食後は捜索班毎に要救助者のストレッチャーへの搭載訓練、その後、ロ

一、二班はあだたら高原スキー場のブルーラインリフトに搭乗、訓練場所の薬師尾根五葉松平を目指して雪山に登山、十時三十分には到着した。今年の安達太良山、積雪が少なく、五葉松平でもストレッチャーへの要救助者搭載・運搬訓練ができるだけの積雪がないため、訓練場所を例年吹き溜まりになっている、ロープウェイ山頂駅広場に移すこととし更に登山、十一時には到着した。最初の訓練は、ツェルト・ザックを使った冬山での緊急退避訓練、初めて利用する消防隊員・警察署員など、ザックの材質が薄いのに機密性高く、中が暖かいのに驚いていた。昼食後は捜索班毎に要救助者のストレッチャーへの搭載訓練、その後、ロ



講評、当会□□副会長

最後に、救助隊長あだたら山の会□□副会長からの講評があり、救助訓練を終えた。北消防署、二本松警察署、当会を含めた民間救助隊から、総勢三十五名が参加した。

遭難救助訓練・続き スケツドストレッチャ、体験記



報告 □□□□

澤さん、長ったるな、私も朝一度用足しただけだったので、平な場所です。止めて貰って用を足した。遭難者はそれどころで無いかも知れないが、話は聞かなければならない。
ストレッチャーに乗った。搬送は平部からゆるやか傾斜地から急坂へ、さほど傾斜に閉

今回は一月の厳寒の内にあり、遭難救助、搬送訓練に参加して、遭難者の立場として、貴重な体験をした。体験することにより、より良く、遭難者に、寄り添う事が出来る。搬送用具に乗り横になりザックを枕に代用する。足は全部伸ばして靴は履いたまま乗る。バンドで固定するときに締め加減の問答もあり、適正に締めて貰った訳だが、手も真下に伸ばした状態で自由がきかず、顔を掻きたくても何も出来ない。遭難者は体力が弱って会話できない状態だとすると問題があり、両手は使えるようにした方が良いと思われる。また床板も薄いので下からの雪濡れによる体温の低下も出て来て、トイレも近くなるので、搬送具に乗る前

に用を足すように伝える。ガマンするのも切ないもので、私も朝一度用足しただけだったので、平な場所です。止めて貰って用を足した。遭難者はそれどころで無いかも知れないが、話は聞かなければならない。
搬送は平部からゆるやか傾斜地から急坂へ、さほど傾斜に閉

一月二日・五日 令和二年、私の正月山行



報告 □□□□

令和元年、わが家では十月には息子の入院、十一月未からは私が、歯の痛みから始まり十二月に入り三十九度の高熱、セキが酷く声も出なくなる。蓄膿症といわれ、だいぶ進行しているとの事。三週間の葉で少し改善した様に思う。高熱とセキで体力が落ちてしまったのでは無いかと思っ

今まで何年か続けてきた元日のあだたら山行も今年もは休み、朝からテレビ、コタツ守り。つまらない元日と成る。昨年のは引きずりたくない。どの位体力が落ちているか、二日に口太山へ。夏無沼入口の県道に車を止め、入山する。夏無沼まで車道歩き、登山道に入る。夫婦松あたりは笹



気が良くし一月五日には、日本で一番早い山開きを行う「鹿狼山」に妻と行く。山頂は風も無く、三方の見晴らしは最高、大きな太平洋、火力発電所の煙は真っ直ぐ大空へと消えていく。最高の幸せを戴き午後一時駐車場へ下山する。欲張って竹駒稲荷神社まで足を伸ばし、家内安全を祈願し、帰路に付く。四時半帰宅。

一月二十七日受信 N市広区番組ガイド・トラバース



報告 □□□□

三〇〇名山踏破中の口□□さんが、一月十七日に沼尻から安達太良に入山して塩沢に下山の予定が湯川ルートが通行止めで奥岳に下山。次の一切経登山に向けて徒歩移動の途中ということ。十七日我が家に投宿。撮影クルー六人も。翌十八日は高湯温泉(花月ハイランドホテル)に徒歩移動し、十九日、一切経日帰り登山(慶応山荘経由)。安達太良も吾妻も少雪で思わぬ苦戦をしたので今後の予定を切り上げ、一旦神奈川に帰宅と決め二十日、再び我が家に投宿されまし

た。添付したのは二十一日八時半頃の画像です。二十一日は我が家から岳温泉を通り郡山へ移動。二月下旬に再び二股山からチャレンジ再開とのことでした。
普段、著名人が来ようが、タレントが来ようが色紙や写真は撮らないのが我が家の流儀なのですが、いろいろと話しているうちに何故か女房に撮ってもらっていました。いい人でした。こっちの方に来た時には必ずお世話になりますと言っています。我が家から小走りに出て行きました。



スキー場の急傾斜搬送中

救助訓練 写真



NHK、TVの画面

「日本3百名山ひと筆書き」と言うHPがあります。そこで日記が公開されています。二〇二〇年一月十七日付け「安達太良山を越えて」が有ります。ご参考までに(編集部)。